

令和5年度 校長より ⑥

校長からの全校放送により、新たな訓練の目的と大規模災害の想定の説明、今回生徒が取り組むべき行動目標と実施方法についての指示がありました。6月22日(木)は、本校で初めて生徒主体型の実践的防災訓練を実施しました。生徒たちは指定された防災避難班の場所に各自自主的に移動後、想定された災害発生時における自己の行動選択と意思決定を行いました。無駄口を一言もしないで真剣に訓練に参加する姿は、自立した精神の表れであり、訓練の重要性をしっかりと認識している証拠であると感じました。いつ発生してもおかしくない大規模災害ですので、ご家庭においてはこの機会をとらえていただき、発生時の各家庭における対応や約束事についてしっかりと話し合い、ご確認いただくようお願いします。

ベンチ入り全選手の入場行進が復活したのは4年ぶりのことです。7月7日(金)に横浜スタジアムにおいて、第105回全国高等学校野球選手権記念神奈川大会の開会式が行われました。本校野球部も1番から20番までの背番号を背負った選手たちが、堂々たる姿で入場行進を行いました。3年生にとっては高校時代で最後の大会となります。悔いの残らない試合となることを願いつつ、スタンドで精一杯の拍手を送らせていただきました。大会6日目の川和高校との試合は、12日(水)に藤沢八部球場で行われました。一塁側スタンドは、吹奏楽部、ダンス部、野球部の保護者や卒業生で埋め尽くされました。1回表に先制点をあげたもののその後逆転を許し、9回表には2点差まで追い上げましたが、4対6にて惜敗となりました。酷暑の中、応援をいただきました皆様方、誠に有難うございました。全力を出し切った選手たちの姿は、沢山の人の勇気と感動を与えてくれました。また、スタンドでは、仲間のことを自分事として心から応援する姿も見られました。選手や応援の生徒たちのこうした姿こそが、本校の財産だと感じています。今後もこうした姿がどこの部活動でも見られる指導に取り組んでまいりますので、皆様方にはご支援とご協力をよろしくお願いします。

六国祭(体育祭)実行委員長からの挨拶が放送で行われ、カラーごとの集合場所へ移動した後、カラー幹部からの自己紹介と決意表明がありました。7月13日(木)は六国祭の結団式が行われました。団名やポーズの紹介、写真撮影等も行われ、生徒たちは、応援・チア・仮装・パネル・競技での活躍とカラーごとの団結を約束していました。いよいよ本格的に六国祭への活動がスタートします。心を一つにし、総合優勝を目指し、仲間と楽しみながら、今年度の六国祭を皆で築き上げてほしいと思います。楽しみにしています。

7月12日(水)に県立音楽堂で全国高校総合体育大会の結団式が、15日(土)には西公会堂で全国高校総合文化祭の派遣激励会が行われ、ウエイトリフティング部と新聞委員会の生徒が出席しました。全国大会に出場する他校の選手・生徒たちと共に、こうした場に本校生徒も参加できることは、本人の自信や誇りとなり、他の生徒たちの向上心や愛校心につながると思います。こうした経験を通して、生徒たちにはさらに成長して欲しいと思います。

令和5年7月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆